



和歌山県立体育館にて

大里拳輝さん(長田小6年)が第8回全日本アンダージュニアボクシング王座決定戦で準優勝

長田小学校6年生の大里拳輝さんが、和歌山県立体育館(和歌山市)で行われた「第8回全日本アンダージュニアボクシング王座決定戦」(主催:一般社団法人日本ボクシング連盟)に、小学生男子46kg級東日本代表として出場し、準優勝に輝きました。大里拳輝さんのご自宅は上小橋にあるボクシングジム「大里Knuckle道場」で、「小さい頃からボクシングが身近にあった。ボクシングは勝ったときが楽しい。」

今後の抱負は、「リベンジして優勝したい」と話していました。お父さんの和則さんは「生まれる前からボクシングをやらせたかった。名前もその為に、拳輝(げんき)と付けた。また、夢として、このボクシングジムで育った子がどんどん強くなって境町から全国に羽ばたいてくれたら」と語ってくれました。



左から父・和則さん、拳輝さん、母・由美さん



拳輝さん愛用のグローブ、シューズ、ヘッドギア



準優勝時の賞状とメダル

祝! 境トリニタス 茨城県社会人サッカー1部リーグ優勝

10月31日(日)境町をホームとするサッカーチーム、境トリニタスが茨城県社会人サッカー1部リーグにおいて優勝し、優勝セレモニーを行い、11月2日(火)、トリニタスの真中靖夫監督と選手らが町役場を訪れ、橋本町長にリーグ優勝の報告を行いました。

境トリニタスは、4~10月に県内10チームで争う1部リーグで15勝1敗1分という成績をおさめ、上位リーグへの参入をかけ、1都7県の16チームで戦う関東社会人サッカー大会に出場、惜しくも上位リーグ参入はなりませんでしたが、初出場ベスト4の好成績を収めました。

境トリニタスは平成28年に発足し、Jリーグ昇格を目指し、境町サッカー場で日々練習を行っています。昨年、真中新監督を迎え、地元出身の元Jリーガーや他のクラブチームで活躍する選手をトライアウトで獲得するなどチーム体制の強化を図ってきました。



橋本町長へ表敬訪問



優勝報告を行う真中監督



インタビューを受ける橋本町長と真中監督



激励する橋本町長



関係者のみなさん

1/21

東京五輪卓球金メダリスト水谷選手が境町の中学生と交流

東京2020五輪の卓球混合ダブルス金メダリスト水谷隼選手が、境町役場において橋本町長を表敬訪問し、東京五輪の振り返りや、「今後は卓球の普及活動を行っていきたい」と、これからの展望を話してくれました。橋本町長は交流の中で、一流のスポーツ環境に触れる機会や施設づくりを通じ、スポーツに励む子どもを応援したい、との思いを語りました。



その後、水谷選手は境一中と境二中を訪れ、境町の中学生と質疑応答や、写真撮影などで交流を行いました。



水谷選手と記念撮影をする境一中・境二中の生徒の皆さん

助成事業

11/21

宝くじ助成事業活用 住吉町子ども神輿を修復



住吉町行政区で、宝くじの助成をうけて子ども神輿が修復され、神霊入れが行われました。

今までの神輿は、老朽化が著しく、今回宝くじの助成金と地区負担金を併せて修復しました。 ※宝くじ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施されている事業です。



住吉町で行われた神輿の神霊入れ

1/24

「いばらきデザインセレクション2021」 飯田園が知事選定を受賞

境町蛇池のお茶屋さん、飯田園(飯田耕平代表)が「いばらきデザインセレクション」の知事選定を受賞しました。この賞は、茨城県の産業イメージやブランド力向上につながる優れたデザインの商品や活動を、県が表彰するものです。

知事選定の「噛み茶-手揉み茶-」、選定の「シングルオリジン さしま茶」はどちらも、飯田園の高い製茶技術と、スタイリッシュなデザイン、お茶の常識にとられない、ユニークでオリジナリティを感じさせる発想が評価されての受賞となりました。



スタイリッシュにさしま茶を持ち歩ける「噛み茶」(左)と、かわいデザイン「シングルオリジンさしま茶」(右)

スポーツ

10/27

境二中 稲垣翔太さんが水泳で県大会3位・関東大会出場

境第二中学校の稲垣翔太さんが、茨城県中学校新人体育大会で水泳個人メドレー200mで3位に入賞し、関東大会に出場しました。



8/8

境一中 金久保空雅さんが砲丸投げで関東大会出場

境第一中学校陸上競技部の金久保空雅さんが、関東中学校陸上競技大会2021、男子砲丸投げ競技決勝に出場しました。



8/6

境一中男子ソフトテニス部が関東大会出場

境第一中学校男子ソフトテニス部 大賀陽翔さん・倉持伊吹さんペア、飯田陸斗さん・上沼泰心さんペアが関東中学校ソフトテニス大会に出場しました。



上沼さん(左) 飯田さん(右) 倉持さん(左) 大賀さん(右)